平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 インフォメーション・ディベロップメント
 コード番号 4709 URL <http://www.idnet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船越 真樹
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 山内 佳代
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

TEL 03-3264-3571

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	8,888	—	497	—	502	—	271	—
20年3月期第2四半期	8,606	29.5	467	22.6	458	19.8	207	△4.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	36.54	36.44
20年3月期第2四半期	27.51	27.42

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	9,426	57.6	5,609	57.6	—	—	730.65	730.65
20年3月期	9,620	55.0	5,418	55.0	—	—	712.14	712.14

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 5,427百万円 20年3月期 5,288百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	19.00	19.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,050	5.6	1,270	5.8	1,250	4.9	670	12.6	90.20

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 株式会社 シィ・エイ・ティ) 除外 — 社(社名)
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 8,029,535株 20年3月期 8,026,675株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 601,485株 20年3月期 600,556株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 7,426,090株 20年3月期第2四半期 7,526,385株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績等は、業況の変化等により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）における情報サービス産業は、企業業績の低下により、IT投資は一時の勢いを失い、かつ受注単価の引下げ要請もあり、事業環境は、厳しくなっております。

経済産業省が行っている特定サービス産業動態統計調査（平成20年10月9日発表）によりますと、業界全体での売上高は4月6.9%、5月2.2%、6月5.6%、7月1.8%、8月2.9%と前年同月比を上回る水準を維持しながら、昨年度の成長率より若干鈍化しております。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、グループ全体での資源調達、外注と内製のバランスの見直し、拠点活用などの業務の効率化に取り組むとともに、当社グループの総合力を活かし、既存のお客様を中心にBOO（注）の推進による総合的なサービスの提供、プロジェクト管理の強化、生産性の向上、高品質サービスの維持などに努めてまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は88億88百万円（前年同期比3.3%増）となりました。これは主として、システム運営管理部門およびソフトウェア開発部門が堅調に推移したことによるものです。

収益面においては、パートナー（提携関係を結んでいる外注先IT企業）の効率的な活用、品質管理・生産性の強化に取り組んだことにより、営業利益は4億97百万円（前年同期比6.5%増）、経常利益は5億2百万円（前年同期比9.7%増）、四半期純利益は2億71百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの部門別売上高は、次のとおりであります。

①システム運営管理部門

低価格化や受注競争が激化する中で、システム運営管理業務のアウトソーシング化の需要を捉え、既存顧客における個別案件の受注が堅調に推移したことから、売上高は46億97百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

②ソフトウェア開発部門

既存顧客における金融・保険関連の受注が引き続き堅調に推移したことから、売上高は32億56百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

③データ入力部門

証券業務の個別案件増により、売上高は7億1百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

④その他（セキュリティ業務、コンサルティング業務等）

セキュリティ業務およびコンサルティング業務の受注が減少したことから、売上高は2億32百万円（前年同期比25.4%減）となりました。

なお、前年同期比につきましては、当連結会計年度より会計基準が変更されているため、参考として記載しております。

（注）BOO（ビジネスオペレーションズアウトソーシング）とは、お客様のコンピュータ部門からの直接的な業務の獲得に止まらず、関連する業務の川上から川下に至る広い範囲のビジネス展開です。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の変動状況

当第2四半期末における財政状態の変動状況は、前連結会計年度末に比べ、総資産では1億93百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少1億94百万円、売上債権の減少3億82百万円、仕掛品の増加1億19百万円およびのれんの増加3億26百万円などによるものであります。負債の減少3億84百万円は、主に仕入債務の減少66百万円、有利子負債の増加1億1百万円、未払法人税等の減少1億52百万円、賞与引当金の減少1億33百万円および退職給付引当金の減少51百万円などによるものであります。純資産は利益剰余金の増加1億30百万円などにより1億90百万円増加し、自己資本比率は57.6%となりました。

なお、当第2四半期末において新たに株式会社シィ・エイ・ティを連結したことに伴い流動資産1億41百万円、固定資産22百万円、のれん3億58百万円、流動負債38百万円および少数株主持分51百万円が増加しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期連結会計期間末に比べ87百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には13億35百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2億57百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益5億10百万円、売上債権の減少4億15百万円、賞与引当金を含むその他の流動負債の減少額2億15百万円、たな卸資産の増加1億13百万円、仕入債務の減少76百万円および法人税等の支払額2億91百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億10百万円となりました。

これは主に、新規連結子会社株式会社シィ・エイ・ティの取得による支出3億39百万円、有形固定資産の取得による支出46百万円および無形固定資産の取得による支出26百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は42百万円となりました。

これは主に、短期借入金の純減少額1億円、社債の償還による支出89百万円、配当金の支払額1億40百万円、長期借入れによる収入3億円などによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

景気の先行き不透明感が払拭できない状況の中で、企業の情報化投資行動に影響を受けることが予想されるなど、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が継続するものと予想しております。

このような環境のもと、当社グループは、グループ全体の資源調達、拠点活用など、業務の効率化に持続的に取り組み、期初計画の達成に向けて努力してまいります。

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、当社グループの既存顧客における情報化投資動向から、第3四半期以降、受注、売上とも期初計画の水準を確保できるものと見込んでおり、現時点で平成20年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

株式会社シィ・エイ・ティの株式を平成20年8月に2,817株、平成20年9月に50株取得(計2,867株、所有割合59.5%)し、株式会社シィ・エイ・ティを当第2四半期連結会計期間末より連結の範囲に含めております。

なお、株式会社シィ・エイ・ティは特定子会社に該当しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産(商品)

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係 る要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,355,474	1,550,449
受取手形及び売掛金	2,250,220	2,632,392
仕掛品	352,957	232,958
その他	423,326	433,887
流動資産合計	4,381,978	4,849,688
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,686,795	1,686,795
その他(純額)	782,761	797,115
有形固定資産合計	2,469,557	2,483,911
無形固定資産		
のれん	891,181	564,242
ソフトウェア	94,090	95,291
その他	9,377	9,290
無形固定資産合計	994,649	668,825
投資その他の資産	1,580,318	1,617,764
固定資産合計	5,044,525	4,770,502
資産合計	9,426,503	9,620,190
負債の部		
流動負債		
買掛金	366,777	432,870
短期借入金	630,000	730,000
1年内償還予定の社債	61,160	119,420
1年内返済予定の長期借入金	100,200	—
未払法人税等	134,524	286,832
賞与引当金	509,559	643,271
役員賞与引当金	12,250	26,130
受注損失引当金	5,114	1,136
その他	582,780	668,337
流動負債合計	2,402,367	2,907,998
固定負債		
社債	—	31,450
長期借入金	191,450	—
退職給付引当金	771,455	822,871
役員退職慰労引当金	451,777	438,881
固定負債合計	1,414,683	1,293,203
負債合計	3,817,051	4,201,201

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係 る要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,344	591,541
資本剰余金	545,738	544,942
利益剰余金	4,728,547	4,598,311
自己株式	△429,723	△429,119
株主資本合計	5,436,906	5,305,676
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,916	△20,103
為替換算調整勘定	2,314	2,834
評価・換算差額等合計	△9,602	△17,268
少数株主持分	182,147	130,582
純資産合計	5,609,451	5,418,989
負債純資産合計	9,426,503	9,620,190

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	8,888,050
売上原価	7,254,463
売上総利益	1,633,587
販売費及び一般管理費	1,135,976
営業利益	497,610
営業外収益	
受取利息	898
受取配当金	11,832
受取保険金及び配当金	6,404
その他	10,046
営業外収益合計	29,182
営業外費用	
支払利息	7,445
コミットメントライン手数料	16,607
その他	14
営業外費用合計	24,067
経常利益	502,725
特別利益	
貸倒引当金戻入額	8,900
特別利益合計	8,900
特別損失	
固定資産売却損	266
固定資産除却損	737
特別損失合計	1,003
税金等調整前四半期純利益	510,622
法人税、住民税及び事業税	121,507
法人税等調整額	112,970
法人税等合計	234,477
少数株主利益	△4,812
四半期純利益	271,331

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	510,622
減価償却費	69,254
固定資産除却損	737
固定資産売却損益(△は益)	266
のれん償却額	31,938
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,020
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,900
受注損失引当金の増減額(△は減少)	3,978
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△51,415
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12,896
受取利息及び受取配当金	△12,731
支払利息	7,445
為替差損益(△は益)	△373
売上債権の増減額(△は増加)	415,541
たな卸資産の増減額(△は増加)	△113,392
仕入債務の増減額(△は減少)	△76,673
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△33,537
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△215,148
その他	16,489
小計	543,975
利息及び配当金の受取額	12,477
利息の支払額	△7,157
法人税等の支払額	△291,380
営業活動によるキャッシュ・フロー	257,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△46,435
有形固定資産の売却による収入	114
投資有価証券の取得による支出	△300
無形固定資産の取得による支出	△26,160
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△339,978
貸付けによる支出	△2,770
貸付金の回収による収入	534
その他	4,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	△410,703

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△8,350
社債の償還による支出	△89,710
株式の発行による収入	1,607
自己株式の取得による支出	△651
自己株式の売却による収入	39
配当金の支払額	△140,373
少数株主への配当金の支払額	△4,698
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,136
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△194,975
現金及び現金同等物の期首残高	1,530,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,335,474

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)において、情報サービス事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えており、その他の事業には重要性がないため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)において、海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
該当事項なし

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		
	金額(千円)	百分比 (%)	
I 売上高		8,606,850	100.0
II 売上原価		7,047,290	81.9
売上総利益		1,559,560	18.1
III 販売費及び一般管理費			
1 役員報酬	77,294		
2 給与・賞与	463,881		
3 賞与引当金繰入額	71,348		
4 役員賞与引当金繰入額	10,500		
5 役員退職慰労引当金繰入額	13,736		
6 地代家賃	72,837		
7 のれん償却額	31,938		
8 その他	350,643	1,092,179	12.7
営業利益		467,380	5.4
IV 営業外収益			
1 受取利息及び配当金	12,356		
2 保険金収入	2,330		
3 事務代行手数料	1,869		
4 その他	2,607	19,162	0.2
V 営業外費用			
1 支払利息	10,179		
2 コミットメントライン手数料	16,705		
3 その他	1,501	28,386	0.3
経常利益		458,157	5.3
VI 特別損失			
1 固定資産売却損	553		
2 固定資産除却損	3,699		
3 過年度受託業務解約損	63,000	67,252	0.8
税金等調整前中間純利益		390,904	4.5
法人税、住民税及び事業税	180,480		
法人税等調整額	△4,061	176,419	2.0
少数株主利益		△7,443	△0.1
中間純利益		207,042	2.4

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前中間純利益	390,904
2 減価償却費	67,595
3 固定資産除却損	3,699
4 固定資産売却損	553
5 のれん償却額	31,938
6 役員賞与引当金の増減額	△9,800
7 貸倒引当金の増減額	△3,000
8 受注損失引当金の増減額	△27,387
9 退職給付引当金の増減額	△23,188
10 役員退職慰労引当金の増減額	12,056
11 受取利息及び受取配当金	△12,356
12 支払利息	10,179
13 売上債権の増減額	270,561
14 たな卸資産の増減額	△136,982
15 仕入債務の増減額	△105,454
16 その他資産の増減額	△19,147
17 その他負債の増減額	△30,402
18 その他	18,517
小計	438,287
19 利息及び配当金の受取額	12,178
20 利息の支払額	△10,704
21 法人税等の支払額	△234,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	205,588
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の解約による収入	40,000
2 有形固定資産の取得による支出	△55,168
3 有形固定資産の売却による収入	22
4 投資有価証券の取得による支出	△336
5 無形固定資産の取得による支出	△11,598
6 貸付けによる支出	△777
7 貸付金の回収による収入	1,011
8 その他	10,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,973
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額	81,000
2 長期借入金の返済による支出	△58,848
3 社債の償還による支出	△37,710
4 自己株式の取得による支出	△107,051
5 自己株式の売却による収入	12
6 配当金の支払額	△135,235
7 少数株主への配当金の支払額	△3,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△261,586
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	275
V 現金及び現金同等物の増減額	△71,695
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,494,385
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,422,689

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）において、情報サービス事業の売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えており、その他の事業には重要性がないため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）において、本邦の売上高の合計に占める割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）において、海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。